

NEWS LETTER

銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会
www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

127
2023-06-05

銀座スカイウォーク：2030年以降の遊歩道化に向けて KK線（東京高速道路）上を歩いてきました

銀座の外周を囲む全長2kmの高速道路「KK線」は、日本橋上空にかかる首都高速道路の地下化に伴って廃止され、2030～40年代に遊歩道として姿を変えます。このKK線は戦後、急増する自動車交通に対応するために、皇居の外堀、汐留川、京橋川を埋め立てて建設されました。道路の下部の商業施設から収益を得て運営されていることが特徴で、高速道路でありながら車両走行は無料です。

街を歩くことを楽しむ都市文化が生まれた銀座。時代や社会の変化に対応しながら、「歩きたくなる」街を目指す街の核にある「銀ぶら」をステップアップさせる再整備に期待が高まります。

■KK線の進捗状況

歩行者空間化の検討が進むKK線。全長2kmにわたる全線において、開かれた公共空間としての役割が永続的に担保されるように、2023年1月には、「再開発等促進区を定める地区計画」が定められました。銀座街づくり会議は中央区の協力を得て東京都とその内容を検討し、銀座街づくりの基盤である既存の地区計画との整合性をもった内容にまとめられました。

2022年11月～2023年2月には、KK社が主催する「KK線再生に関する意見交換会」が3回にわたって開催されました。周辺の既存建築物への配慮とその関係性のつくり方、近隣エリアとの良好な関係性、安全性を担保する縦動線の数と場所、銀座のにぎわいや防災機能向上への貢献、交通課題解決への対応など、活発な意見交換が行われました。そしてまた、設計プロセスから世界的な注目を集める仕掛け作りなどのアイデア提案も要望しています。

そして東京都は「東京高速道路（KK線）再生の事業化に向けた方針（案）」を2月に発表。銀座街づくり会議からは主に①空間のありかた、②事業・運営の進め方、③銀座の街の課題解決面からの具体的要望の3点を軸に考え方を整理し、パブリックコメントとして提出しました。

■銀座スカイウォーク

東京都は5月4日・5日に、KK線上を歩くイベント「銀座スカイウォーク」を実施、車両の通行を止めて高速

道路を歩行者に開放しました。区間内の再生モデルエリアでは、ステージや物品販売ブース、次世代モビリティの試乗スペースなどが設けられ、具体的な検討に入るための可能性を探る貴重な機会になりました。4日のトークセッションには全銀座会街づくり委員長の東條幹雄が登壇し、意見交換会やパブコメの内容をベースとしたKK線再生への期待を語りました。

5日の早朝から近隣地区として銀座・京橋・新橋地区の皆様と一緒に、新橋から京橋までの全線を約1時間ほどかけて歩きました。実際に歩いてみると、それぞれの通りの直線的な風景が印象的なこと、隣接する高層ビルの反射熱が暑いこと、カーブの勾配が意外と強いことなど、様々な体感を得られます。また今後はデザイン協議会においても、KK線から見える街並みを意識した協議と判断が必要になることもわかりました。

KK線上部は、建物が密集する地域でありながら、風が抜けてゆったりとした空気が流れています。青い空の下、JRの線路に隣接する場所に電車が行き交う風景にワクワクしながらそぞろ歩きを楽しむ姿が目に見え、穏やかな空間に期待が膨らみます。

建設から半世紀を経た施設はどのような機能を持って未来の風景をつくり、新たな人の流れを生み出すのでしょうか。銀座街づくり会議は、皆様のご意見を伺いながらKK線の未来を考えていきます。

パブリックコメントは銀座街づくり会議 WEB サイトからご覧いただけます。▶▶ www.ginza-machidukuri.jp